

鈴木敬夫 教授 略歴・業績目録

略 歴

一九三八年一月 朝鮮・元山に生まれる

本籍地・北海道札幌市

I. 学 歴

一九五七年 四月 専修大学法学部入学

一九六一年 三月 専修大学法学部卒業 法学士

一九六一年 四月 同大学大学院法学研究科修士課程入学

一九六三年 三月 同大学大学院法学研究科修士課程終了、「修士」の学位（法学）を取得

一九六三年 四月 同大学大学院法学研究科博士課程入学

一九六六年 三月 同大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学

一九七五年一〇月～七六年九月

ドイツ・フライブルク大学 (Universität Freiburg) 留学

一九七九年 三月 大韓民国・高麗大学校 (Korea University) 大学院法学研究科博士課程入学

一九八二年 二月 同大学校大学院法学研究科博士課程学点取修了

一九八四年 七月～九月

北京師範学院短期中文学習班受講

一九八六年 七月～九月

高麗大学校民族文化研究所韓国語文化教育受講

一九八八年 九月 高麗大学校より「博士」の学位(法学)を取得

一九九九年 四月～二〇〇〇年三月

ドイツ・フライブルク大学 (Universität Freiburg) 経済刑法研究所 客員研究員

II・職歴

一九六七年一〇月 文部省大学設置審にて札幌商科大学助教授(法学)の認定を受ける

一九六八年四月 札幌商科大学開学準備委員

札幌商科大学商学部助教授(法学・商法)

一九六九年 四月～一九七二年五月

学校法人明和学園（札幌商科大学）理事

一九七二年 四月～一九七五年五月

学校法人明和学園（札幌商科大学）常務理事

一九七六年 一月

文部省大学設置審にて札幌商科大学教授（法学・商法）の判定を受ける

一九七九年 五月～一九八一年五月

学校法人明和学園（札幌商科大学）常務理事

一九八三年 四月～一九八五年三月

札幌商科大学広報入試部長

一九八三年一二月

文部省大学設置審にて札幌学院大学教授（法哲学・アジア法）の判定を受ける

一九八四年 四月～二〇〇七年三月

札幌学院大学法学部教授（法人名及び大学名変更・法学部設置）法学部設置委員

一九八四年 五月～一九八五年四月

学校法人札幌学院大学理事

一九八五年 二月～一九八六年三月

札幌学院大学法学部法律学科長

一九九〇年 四月～一九九四年三月

同法学部法律学科長

一九九四年 四月～一九九八年五月

同法学部法学部長

学校法人札幌学院大学理事

大学院法学研究科設置委員

一九九七年 四月～一九九九年三月

同大学院法学研究科長

二〇〇二年 四月～二〇〇四年三月

札幌学院大学国際交流センター長

二〇〇四年 四月～二〇〇七年三月

同大学院法学研究科長

二〇〇七年 四月～ 札幌学院大学名誉教授

学外兼任講師

一九七一年 四月～一九九四年三月

北海学園大学経済学部兼任講師(商法)

一九七三年 四月～現在に至る

北海道警察学校特別講師(民法・商法・会社犯罪)

一九八八年 四月～一九九〇年三月

北海道教育大学教育学部札幌分校兼任講師（法学・憲法）

一九九一年 四月～一九九四年三月

酪農学園大学経済学部兼任講師（民法）

二〇〇二年 四月～二〇〇五年三月

北海道情報大学経済学部兼任講師（法学・憲法）

Ⅲ・学会活動

一九六五年一〇月～現在に至る

日本法哲学会会員

一九七五年一〇月～現在に至る

日本刑法学会会員

一九七五年一〇月～現在に至る

国際法哲学及び社会哲学学会 (I. V. R) 日本支部会員

二〇〇三年 三月～現在に至る

中国拉德布鲁赫法哲学思想研究会会員

二〇〇四年一〇月～現在に至る

日本アジア法学会創設理事・会員

IV. 名誉教授 客員教授等

一九九二年 五月	私立松花江大学客座教授 聘字第九二一〇六六
一九九二年 九月	延边大学名誉教授
一九九四年 三月	中国青年政治学院法律系名誉教授
一九九五年 八月	吉林大学客座教授 吉大聘字（一九九五）〇四号
一九九六年 五月	中国農業大学人文社会科学学院名誉教授
一九九六年 九月	山東大学法学院客座教授 山東法聘字第〇三〇号
一九九六年 九月	北京国際經濟文化研究中心客座研究員 京研聘字第一二号
二〇〇三年 三月	黒竜江大学客座教授 黒師聘字第〇三〇〇号

表彰

一九八五年一〇月	韓国公法学会から功労章を授与 韓国憲法論文等の翻訳出版
二〇〇六年一月	日本警察庁長官から協力功労章を授与 警察学校における司法警察官への教育

研究業績

目次

- I. 著書・編訳書
- II. 共著・共編著
- III. 論文
- IV. 翻訳
- V. 解説・書評など
- VI. 学会発表・研究会発表
- VII. 講演・講座など

I. 著書・編訳書

一九七七年

『ラートブルッフ・魔笛の刑法』（編訳）鳳舎

一九八一年

『現代韓国・台湾における法哲学』（編訳）成文堂

一九八二年

『現代韓国の法思想』（編訳）成文堂、アジア法叢書1

一九八四年

『現代韓国の憲法理論』（編訳）成文堂、アジア法叢書4

一九八五年

『現代韓国の基本権論』（編訳）成文堂、アジア法叢書6

一九八八年

『法哲学序説』成文堂

一九八九年

『現代中国の法思想』（編訳）成文堂、アジア法叢書11

『法을 통한 朝鮮植民地支配에 관한 研究』韓国語 大韓民国・高麗大学校民族文化研究所、民族文化研究叢書40
『朝鮮植民地統治法の研究―治安法下の皇民化教育―』北海道大学図書刊行会

一九九〇年

『李恒寧著…法哲学概論 I・I—法哲学の風土的方法と世界史的構造—』成文堂、アジア法叢書12

一九九二年

『李恒寧…法哲学概論 II・I—法哲学の風土的方法と世界史的構造—』成文堂、アジア法叢書15

一九九四年

『中国の死刑制度と労働改造』（編訳）成文堂、アジア法叢書18

一九九七年

『中国の人権論と相対主義』（編訳）成文堂、アジア法叢書22

二〇〇二年

『法哲学の基礎—ラートブルッフの法哲学—』成文堂

二〇〇六年

『東アジアにおける死刑廃止論考』（編訳）成文堂、アジア法叢書26

II. 共著・共編著

一九六八年

『民法』上（共著）鳳舎

『法学序説』（共著）鳳舎

一九六九年

『商法総則・商行為法』（共著）鳳舎

『商法I総則・商行為』（共著）鳳舎

一九七二年

『民法概論』（共著）鳳舎

一九七八年

『教材民法判例』（共編著）北海道大学図書刊行会

『基本判例・現代社会と法』（共編著）中央書房

一九八〇年

『債権法』（共著）鳳舎

一九八一年

『現代企業法入門』（共著）中央経済社

一九八二年

『企業法と現代社会』（共著）嵯峨野書院

一九八三年

『現代財産法入門』（共著）中央経済社

一九八六年

『現代法講義』（共著）中央書房

一九八九年

『国際化社会の法学』（共著）敬文堂

一九九二年

『やさしい法学』初版（共著）成文堂

一九九七年

『やさしい法学』第二版（共著）成文堂

二〇〇一年

『やさしい法学』第三版（共著）成文堂

Ⅲ・論文

一九六一年

商法における企業の団体性の研究（修士論文）

一九六九年

法学時観を中心として『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第一号

法の妥当性について『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第二号

G・ラートブルッフの人と思想（I）『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第三号

一九七〇年

ラートブルッフの法哲学方法論研究 常盤敏太博士古希記念論文集『団体法の諸問題』鳳舎
法における相対主義『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第四号

G・ラートブルッフの人と思想（II）『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第五号

一九七一年

法における方法二元論『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第六号

一九七二年

G・ラートブルッフの人と思想（III・完）『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第八号

法における懐疑と信仰『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第九号

一九七三年

法における事物の本性『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第一〇号

法における社会主義―G・ラートブルッフの所説を中心にして―『法学研究』（北海学園大学）第九卷第一号

一九七四年

社会法の本質―G・ラートブルッフの所説におけるラスク・デュギー・リスト―『論集』（札幌商科大学・札幌短期大

学）第一三号

一九七六年

G・ラートブルッフの法の社会化と事物の本性 常盤敏太博士喜寿記念論文集 『人間・時間・空間』 和光出版社

一九七七年

日本における新カント学派の展開―常盤敏太― 義堂張庚鶴博士華甲記念論文集 『近代法思想』（東国大学校大学院、Seoul）

造形芸術における法哲学―オノレ・ドーミエ―『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第二二号

一九七八年

G・ラートブルッフと常盤敏太博士―常盤敏太博士の御長逝を悼みて―『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第二二号

一九七九年

Tjong Zong Uk 博士のラートブルッフ論―いわゆる Radbruch “Wendung zum Naturrecht”を中心として―『論集』

《一〇周年記念論文集》（札幌商科大学・札幌短期大学）第二三号

現代韓国・台湾における法哲学の潮流 『日本の法哲学』 I 《日本法哲学会 創立三〇周年記念特集(1)》・一九七八年法

哲学会年報・日本法哲学会編（有斐閣）

一九八〇年

法 (Dharma) または懐疑と信仰―現代韓国法哲学の側面―『論集』（札幌商科大学）第二四号

一九八一年

現代韓国における法哲学の諸相―石隅黄山徳博士華甲記念論文集『法哲学と刑法』を中心として―『論集』（商経編）

朝倉和夫教授喜寿記念論文集（札幌商科大学）第二八号

人間の尊厳と抵抗権―現代韓国法哲学と憲法学の一側面―『論集』（商経、人文合併号）（札幌商科大学）第二九号

一九八二年

現代韓国法思想小考『論集』（札幌商科大学）第三一号

韓国における論理実証主義の展開『論集』（札幌商科大学）第三三号

一九八三年

鄭鍾島の法哲学―Prof. Dr. Zong Uk Tjong の御逝去を悼む―『論集』（法律編）（札幌商科大学）第三四号

一九八四年

現代中国法思想小考『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一卷第一号

一九八五年

価値相対主義小考―原秀男博士の御長逝を悼む―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一卷第二号

法による支配―朝鮮における植民地統治法の成立過程―(一)『札幌学院法学』（札幌学院大学）第二卷第二号

一九八六年

会社犯罪をめぐる諸問題―一九八一年日本商法改正に関連して― 壇也徐廷甲博士古希記念論文集『商法学的現代的

課題』（三英社、Seoul）

平和的生存権の国際的視野―大韓民国における平和的生存権論を中心にして―『現代における平和憲法の使命』久田栄

正博士古希記念論文集（三省堂）

G・ラートブルッフの方法二元論小考―野田良之先生の御長逝を悼む―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第三卷第一号

法による支配―朝鮮における植民地統治法の成立過程―(二・完)『札幌学院法学』（札幌学院大学）第三卷第二号

一九八七年

東アジアの法学者たち―中国・台湾・韓国の固有文化に根ざして―『現代の法哲学者たち』長尾龍一編著（日本評論社）

社会主義法小考—G・ラートブルッフの「社会的な法解釈」を中心にして—『札幌学院法学』（札幌学院大学）第四卷
第一号

鄭鍾勗博士の法哲学小考—H. Welzel と G. Radbruch— 義堂張庚鶴博士古希記念論文集 『民法斗法學의 重要問題』
下（東国大学出版、Seoul）

一九八八年

治安法による植民地支配—朝鮮における統治法の一側面—（一）『札幌学院法学』（札幌学院大学）第四卷第二号
治安法による植民地支配—朝鮮における統治法の一側面—（二）『札幌学院法学』（札幌学院大学）第五卷第一号
法を通して行つた朝鮮植民地支配—植民地統治法による民族教育と独立思想の弾圧—〔博士論文・韓国語〕

一九八九年

治安法による植民地支配—朝鮮における統治法の一側面—（三）『札幌学院法学』（札幌学院大学）第五卷第二号

一九九〇年

治安法による植民地支配—朝鮮における統治法の一側面—（四・完）『札幌学院法学』（札幌学院大学）第六卷第一号
亜州憲法興人權思想—戦後日本法學上賴特布魯法理論的意義—『札幌学院法学』（札幌学院大学）第六卷第二号
法律哲學上相對主義—關於賴特布魯價值哲學的基本立場—『札幌学院法学』（札幌学院大学）第七卷第一号

一九九一年

価値理念的順序―關於正義與与法的安定性衝突的探討―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第七卷第二号

現代東亜憲法与人権思想『中外法学』（北京大学法律系・Beijing）第五期

併合以前の治安法 朴秉濠還甲記念論文集『韓国法史学論叢』・国立ソウル大学記念論叢発刊委員会（博英社、Seoul）

植民地治安法の適用―朝鮮高等法院刑事判決録を中心として―（一）『札幌学院法学』（札幌学院大学）第八卷第一号
実現法律面前人人平等『現代法研究所年報』（札幌学院大学）

一九九二年

良心的抵抗権小考―以赫塞・昂怕特（Jose L Tompart）著「人間尊厳与国家権力」一九九〇を中心―『札幌学院法学』

（札幌学院大学）第八卷第二号

中国における刑事司法と人権―張友漁教授の御長逝を悼む―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第九卷第一号

新しい人間への改造―中国の人道主義と人権思想をめぐって―『東原權度燦教授華甲祈念論文集』（東国大学校政法大

学、Seoul）

植民地統治―その司法過誤『判例月報』第二六六号（Seoul）

一九九三年

略論沈在宇的抵抗権論『法学家』（中国人民大学法律系）第一六期（中国・北京・Beijing）

日本死刑廃除論―談談団藤重光博士的死刑廃除論―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第九卷第二号

当代中国の人権思想 『当代學術信息』第三期 浙江省社会科学院 (中国・杭州・Kangzhou)

超越実定法的法、在韩国—關於自然法与実証主義衝突的探討—『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一〇卷第一号

現代中国における人権思想—封建遺制下の民主と法制— 琴波金哲洙教授華甲記念論文集『現代法の理論と實際』(博英社、Seoul)

中国の死緩制度と受刑者の主体性 東山孫海睦博士華甲記念論文集『刑事法の現代的課題』東山記念論文集編纂委員

会 (東国大学、Seoul)

現代中国人権思想—封建遺制下民主与法制—『法哲学と社会哲学』第三集 (国際法哲学と社会哲学 I. V. R. 韓国学会、Seoul)

風土的自然法と法実証主義批判 『北大法学論集』(北海道大学) 第四四卷第四号

一九九四年

人権の主体と主体の人権—張文顯教授の所説にふれて—『札幌学院法学』法学部創設一〇周年記念号 (札幌学院大学)

第一〇卷第二号

人権としての良心の自由—杜鋼建教授の『良心的抵抗権』論にふれて—『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一一巻第一号

中国の人権思想と歴史的風土性 均齋梁承斗教授華甲記念論文集『現代社会と法の発達』(延世大学校法科大学、

Seoul)

一九九五年

中国における死緩受刑者の主体性と尊厳―団藤重光博士の死刑廃止論にふれて―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一一巻二号

中国におけるG・ラートブルッフ法思想の展開―価値寛容主義と思想解放・言論開放―『専修総合科学研究』（専修大学）第三号

価値相対主義在中国的展開―兼談杜鋼建教授の価値寛容主義―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一二巻第一号

一九九六年

人道に対する犯罪―戦前五〇年・日本植民地統治法小考―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一二巻第二号

儒学における良心の自由―杜鋼建教授の人権論を中心にして―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一三巻第一号

儒学における寛容と抵抗―杜鋼建教授の人権論を中心にして―『専修総合科学研究』（専修大学）第四号

一九九七年

価値相対主義与人権尊重―超個人主義若干問題的思考―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一三巻第二号

現代韓国法政における儒教の影響 『韓国二一世紀その文化、社会、科学』第一回日韓学術交流セミナー報告論集（日本大学総合科学研究所）

中国人権論における新仁学思考―杜鋼建教授の所説にふれて― 山嶋正男・五十嵐清・藪重雄先生古希記念論文集『民

法学と比較法学の諸相』II（信山社）

人權的尊重和抵抗主義—東西抵抗權論形態和課題—『中国研究』(A Monthly Journal of SINICA Research) 第二七

卷第三号

韓国商法改正と会社罰則規定小考—朴吉俊教授の所説を中心として—『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一四卷第一号

株主の権利行使に関する利益供与の禁止—一九九五年韓国国会社法改正を中心として—『専修総合科学研究』(専修大学) 第五号

一九九八年

동아시아의人權—중국의 “인권”을 어떻게 보는가? Radbruch 법사상의 영향—『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一四卷第二号

拉德布魯赫法思想在中国的展開 『湘江法律評論』(湘江大学法学院編) 第二卷(中国・杭州・Kangzhou)
東亞的特別背任罪与法人的刑事責任 『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一五卷第一号

法人の刑事責任と抽象的危険犯—韓国・中国・日本との比較研究—『東国法学』第五卷(東国大学校法科大学, Seoul)
法人の刑事責任論の一側面—中国・韓国における “企業組織体責任論”の展開—『専修総合科学研究』(専修大学) 第六号

一九九九年

中・日・韓三国的法人刑事責任論 『東北亞論壇』(吉林大学) 第一九期(中国・長春・Changhun)

現代アジアの人権観について―日本・韓国・中国における法文化の相対性―『京都学園法学』（京都学園大学）第三号

二〇〇〇年

法人の可罰性について―東アジアにおける法人の刑事責任論素描―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一六卷第二号
価値寛容主義の仁学的展開―杜鋼建教授の人権思想― ホセ・ヨンパルト教授古希祝賀論集 『人間の尊厳と現代法理論』（成文堂）

法人の犯罪能力と刑事責任―韓国と中国における論点素描―南杲 朴榮吉教授華甲記念論文集 『商事法の理念と実践』（東国大学校法科大学、Seoul）

二〇〇一年

中国の憲政と人権―杜鋼建教授の新仁学人権論素描―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一七卷第二号

法律上の不法と良心的抵抗 『二一世紀・日韓の正義と人権』第二回日韓学術交流セミナー報告書（日本大学総合科学研究所）

矯正에서 人間の尊嚴과 間主体性……東아시아의 矯正論과 그課題 『21C 矯正發展方案』國際学術発表会論文集（韓国矯正学会、Seoul）

不寛容としての労働矯正―杜鋼建教授の中国『労働矯正制度』廃止論―『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一八卷第一号

二〇〇二年

轉變時期的法治与人権——從“刀制”到“水治”的轉變——『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一八卷第二号
關於法人的刑事責任問題——中国与韓國的論点素描——『札幌学院法学』（札幌学院大学）第一九卷第一号
中国轉換期の法治と人権——“刀制”から“水治”への轉換——『専修総合科学研究』（専修大学）第一〇号

二〇〇三年

拉德布赫法哲学思想的価値 『中国市場經濟論壇』（中国比較經濟學研究会）第三期總第八四期（中国・北京・Beijing）
法における不寛容——杜鋼建教授の新仁学人権論——高瀬暢彦教授古希記念論文集『現代への哲学・歴史の視点』日本
法学（日本大学法学会）第六八卷第四号

論拉德布赫法哲学的現代意義——兼論不寛容的“労働教養制度”与“信訪制度”——『札幌学院法学』（札幌学院大学）
第一九卷第二号

論価値相對主義法哲学現代意義 『求是学刊』（黒竜江大学）第三〇卷第五期（中国・哈爾濱・Harbin）
自由な社会主義について——G・ラートブルッフ著「社会主義の文化理論（一九四九）」の現代的意義——『札幌学院法学』
（札幌学院大学）第二〇卷第一号

植民地地下治安法的特点——戦前日本統治下の朝鮮・台湾——『二〇世紀外国法制度的變革』全国外国法制史研究会編（法律
出版社、Beijing）

二〇〇四年

論自由社会主義—論古斯塔夫・拉德布魯赫著《社会主義文化論、一九四九》の現代意義—『札幌学院法学』（札幌学院大学）第二〇卷第二号

価値相対主義法哲学的意義 『上海大学法学評論・法律文化專題研究』（中国・上海・Shanghai）

中国におけるG・ラートブルッフ研究—原秀男博士没二〇年—『法の理論・23』（成文堂）第二三号

中国における政治体制改革への道—杜鋼建教授の新仁学、政道—論—『札幌学院法学』（札幌学院大学）第二一卷第一号

論自由社会主義—論古斯塔夫・拉德布魯赫著《社会主義文化理論、一九四九》の現代意義—『比較法研究』（中国政法大学）第五期（中国・北京・Beijing）

中国における価値相対主義とラートブルッフ 『法政策論集』（大真大学校、韓国・Pocheon）

二〇〇五年

法の効力について—G・ラートブルッフの哲学的効力論—『札幌学院法学』（札幌学院大学）第二一卷第二号

論法的効力以拉德布魯赫的法哲学効力論中心 『暨自然法理論与拉德布魯赫法思想』第三届全国西方法律思想史研究年報（汕頭大学法学院、中国・汕頭・Shantou）

国旗および国歌に関する法律について 『韓中日、三国の西欧法の受用と定着』第二〇回 Jurist Forum 論文集（忠北大学校、Chengjin）

法人の刑事責任小考—中国と韓国における論点素描— 小暮得雄先生古希記念論文集 『罪と罰・非情にして人間的な

るもの』(信山社)

良心の自由について―杜鋼建著《新仁学：儒教思想与人権憲政・二〇〇〇年》を読む―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二二卷第一号

死刑廃止への道―東アジアにおける死刑廃止論考―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二二卷第二号

二〇〇六年

ラートブルッフにおける「事物の本性」再考『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二三卷第一号

経済犯罪と死刑―権威主義刑法的仁学批判―『太平洋学報』(汕頭大学法学院) 二〇〇六年第一期(中国・汕頭・Shantou)

二〇〇七年

論ラ徳布魯的「事物的本性」『太平洋学報』(汕頭大学法学院) 二〇〇七年第一期(中国・汕頭・Shantou)

回想の「事物の本性」―シュトラーターテンヴェルトの所説―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二三卷第二号

IV・翻 訳

一九六八年

W・シュトラウス「経済憲法組織と国際憲法組織」(一九五二)『札幌短期大学論集』(札幌短期大学) 第一四号

札幌学院法学(二四卷一号)

二〇七 (二〇七)

- G・ラートブルッフ 「刑罰制度における教育思想」(一九三二) 常盤敏太著 『ラートブルッフと教育刑』(鳳舎)
- G・ラートブルッフ 「法律家と文献」(一九二九) 常盤敏太著 『ラートブルッフ』(鳳舎)
- G・ラートブルッフ 「法の改革」(一九四七) 常盤敏太著 『ラートブルッフ』再版(鳳舎)
- G・ラートブルッフ 「主知主義について―断章―」(一九四八) 常盤敏太著 『ラートブルッフ』再版(鳳舎)
- G・ラートブルッフ 「法の目的」(一九三七) 柿本啓・鈴木敬夫共著 『法学序説』(鳳舎)

一九六九年

- ラートブルッフ 「魔笛の刑法」(一九四八) 『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第一号
- ラートブルッフ 「法の宗教哲学」(一九二二) 『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第二号
- G・ラートブルッフ 著 「オノレ・ドーミエ 法廷風刺画」(一九四七) 『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第三号

一九七〇年

- G・ラートブルッフ 「権威刑法か社会的刑法か?」(一九三三) 『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第五号

一九七一年

- G・ラートブルッフ 「中世における犯罪」(一九五一) 『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第六号
- ラートブルッフ からの手紙(一九六八) 『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第七号

一九七二年

G・リンク「経済法の範囲と沿革」(一九六三)『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学)第九号

一九七三年

P・S・アティヤー「現代イギリス契約法の展開」(一九六六)『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学)第一〇号

G・ラートブルッフ「ペーター・ギュンター、愚者にして英雄」(一九五〇)『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学)

第一一号

一九七四年

G・ラートブルッフ「刑法及び刑事訴訟手続」(一九二四)『法学研究』(北海学園大学)第一〇卷第一号

一九七五年

G・ラートブルッフ「刑事法学的立場からのゲート研究」(一九五〇)『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学)第一四号

A・カウフマン編「G・ラートブルッフ、法思慮への箴言」(一九六三) I・『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学)第一五号

一九七六年

F・V・ヒツペル「社会秩序を形造る法、人倫、宗教」(一九七三) I・『法学研究』(北海学園大学) 第一一巻第三号

A・カウフマン編「G・ラートブルッフ、法思慮への箴言」(一九六三) II・『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学)

第一六号

A・カウフマン編「G・ラートブルッフ、法思慮への箴言」(一九六三) III・『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学)

第一七号

F・V・ヒツペル「社会秩序を形造る法、人倫、宗教」(一九七三) II・完『法学研究』(北海学園大学) 第一二巻第

一号

一九七七年

崔鍾庫「韓国文化と法思想―韓国法思想の方向模索のために―」(一九八〇)『法学研究』(北海学園大学) 第一二巻第

三号

A・カウフマン編「G・ラートブルッフ、法思慮への箴言」(一九六三) IV・『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学)

第二〇号

林文雄「ラートブルッフの自然法論―自然法論と実定法の衝突に関する検討―」(一九七六) I・『法学研究』(北海学

園大学) 第一三巻第一号

林文雄「ラートブルッフの自然法論―自然法論と実定法の衝突に関する検討―」(一九七六) II・『法学研究』(北海学

園大学) 第一三巻第二号

A・カウフマン編「G・ラートブルッフ、法思慮への箴言」(一九六三) V・完『論集』商経編(札幌商科大学・札幌短期大学) 第二一号

一九七八年

沈在宇「相对主義の法哲学的意義とその限界―ラートブルッフの思想変遷過程と相对主義の克服興否に関する考察―」(一九六四) I・『法学研究』(北海学園大学) 第一三卷第一号

沈在宇「相对主義の法哲学的意義とその限界―ラートブルッフの思想変遷過程と相对主義の克服興否に関する考察―」(一九六四) II・完『法学研究』(北海学園大学) 第一四卷第一号

G・ラートブルッフ著『法律小語録―アンセルムのための格言集―』(一九五四)『論集』人文編(札幌商科大学) 第二一号

李恒寧博士の風土法論―李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四)を中心として『法学研究』(北海学園大学) 第一四卷第二号

一九七九年

李恒寧の法哲学―李恒寧著『法哲学的人間学』(一九七八)を中心にして『論集』商経編(札幌商科大学) 第二四号

張庚鶴の法哲学―張庚鶴著『法律春香伝』(一九七〇)を中心にして『論集』人文編(札幌商科大学) 第二四号

三民主義の法哲学―洪遜欣「我国現行民事法原理之研究」(一九六五)を中心にして『法学研究』(北海学園大学) 第一五卷第一号

法と非法―黄山徳の法哲学 (一九七三)―『論集』商経編 (札幌商科大学) 第二五号

李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四) 一・『論集』人文編 (札幌商科大学) 第二五号

呉経態『自然法論』(一九七二)『法学研究』(北海学園大学) 第一五卷第二号

一九八〇年

金哲洙『風土的自然法論考』(一九六四)『論集』商経編 (札幌商科大学) 第二六号

李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四) 二・『論集』人文編 (札幌商科大学) 第二六号

黄山徳『自然法とイデオロギ』(一九七三)『法学研究』(北海学園大学) 第一六卷第一号

李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四) 三・『論集』人文編 (札幌商科大学) 第二七号

金哲洙『法における人間の尊厳と価値―現代韓国法哲学・憲法学の一側面―』(一九七九)『法学研究』(北海学園大学)

第一六卷第二号

一九八一年

沈憲燮『法概念―現代法哲学における法概念論の展開―』(一九七九)『論集』人文編 (札幌商科大学) 第二八号

玄勝鍾『韓国の伝統的な法と西欧近代法との関係』(一九五五)『創大アジア研究』(創価大学) 第二号

馬漢賓『法律及び道徳と中国社会の変遷』(一九七六)『法学研究』(北海学園大学) 第一六卷第三号

現代韓国における抵抗権論Ⅰ―丘秉朔『国民の抵抗権問題』(一九七九)―『法学研究』(北海学園大学) 第一七卷第

一号

現代韓国における抵抗権論Ⅱ・―金哲洙「抵抗権小考」(一九八〇)―『法学研究』(北海学園大学)第一七卷第二号
李太載「生命に対する権利と義務」(一九七九)『論集』商経編(札幌商科大学)第三〇号

一九八二年

現代韓国における憲法論Ⅰ・―許宮「生命権に対する憲法的考察」(一九七九)―『法学研究』(北海学園大学)第一七卷第三号

李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四)四・『論集』人文編(札幌商科大学)第三〇号

現代韓国における憲法論Ⅱ・―權寧星「憲法解釈学の方法に関する研究」(一九七五)―『法学研究』(北海学園大学)第一八卷第一号

李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四)五・『論集』人文編(札幌商科大学)第三一号

沈在宇「決定主義的憲法概念と規範主義的憲法概念」(一九七五)『論集』商経編(札幌商科大学)第三二号

現代韓国における憲法論Ⅲ・―李増求「基本権解釈の再検討」(一九八一)―『法学研究』(北海学園大学)第一八卷第二号

李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四)六・『論集』人文編(札幌商科大学)第三二号

一九八三年

現代韓国における憲法論Ⅳ・―韓泰淵「韓国憲法の三〇年」(一九七九)―『法学研究』(北海学園大学)第一八卷第三号

徐元宇 「社会国家原理と公法理論の新しい傾向」(一九八一) 『論集』 法律編 (札幌商科大学) 第三四号
現代韓国における刑法理論Ⅰ・Ⅱ 沈在宇 「不法非難と責任非難」(一九七九) 『法学研究』 (北海学園大学) 第一九卷
第一号

李恒寧著 『再改訂版・法哲学概論』 (一九七四) 七・『論集』 人文編 (札幌商科大学) 第三三号
現代韓国における刑法理論Ⅱ・Ⅲ 朴貞根 「団藤重光の人格責任の理論」(一九八〇) 『法学研究』 (北海学園大学) 第
一九卷第二号

李恒寧著 『再改訂版・法哲学概論』 (一九七四) 八・『論集』 人文編 (札幌商科大学) 第三四号

一九八四年

現代中国における経験主義法哲学の展開―楊日然及び林文雄の所説を中心として― 『法学研究』 (北海学園大学) 第一
九卷第三号

現代アジアの法思想(Ⅰ)―謝瑞智「實証法學興綜合法學」(一九八二)― 『札幌学院法学』 (札幌学院大学) 第一卷第一号
現代中国の法思想Ⅰ・Ⅱ 張宏生と呉経態の法思想― 『法学研究』 (北海学園大学) 第二〇卷第一号
李恒寧著 『再改訂版・法哲学概論』 (一九七四) 九・『論集』 人文学部紀要 (札幌商科大学) 第三五号
現代中国の法思想Ⅱ・Ⅲ 廖光生と蘇俊雄の法思想― 『法学研究』 (北海学園大学) 第二〇卷第二号
李恒寧著 『再改訂版・法哲学概論』 (一九七四) 一〇・『論集』 人文学部紀要 (札幌商科大学) 第三六号

一九八五年

現代アジアの法思想(2)―金哲洙「法比較の方法と類型論の関係」(一九七九)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一

卷第二号

現代中国の法思想Ⅲ―陳守一「新中国の法学における三〇年の回顧」(一九八〇)―『法学研究』(北海学園大学) 第二〇卷第三号

現代中国の法思想Ⅳ―孫国華「中国社会主义の本質」(一九八三)―『法学研究』(北海学園大学) 第二二卷第一号
現代アジアの法思想(3)―E・ヴォルフの法思想・崔鍾庫著「法史と法思想」(一九八〇)を中心として―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二卷第一号

李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四)一一・『論集』人文学部紀要(札幌商科大学) 第三七号

現代中国の法思想Ⅴ―王叙文「憲法の最高法的効力について」(一九八四)―『法学研究』(北海学園大学) 第二二卷第二号

現代アジアの法思想(4)―廖光生「裁判の独立と法制」(一九八四)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二卷第二号

李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四)一二・『論集』人文学部紀要(札幌商科大学) 第三八号

一九八六年

現代中国の法思想Ⅵ―張友漁「マルクス主義法学の発展における毛沢東同志の果たした役割」(一九八四)―『法学

研究』(北海学園大学) 第二二卷第三号

現代アジアの法思想(5)―張庚鶴「正義の理論と現実性」(一九七七)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第三卷第一号

現代中国の法思想Ⅶ・―沈宗靈「毛沢東同志の著作における法律論」(一九八四)―『法学研究』(北海学園大学) 第二

二卷第一号

李恒寧著『再改訂版・法哲学概論』(一九七四) 一三・完『論集』人文学部紀要(札幌商科大学) 第三九号

現代韓国における平和的生存権と抵抗権―丘秉朔「平和的生存権論」(一九七一)を中心として―『法学研究』(北海学

園大学) 第二二卷二号

現代アジアの法思想(6)―李恒寧「法哲学的平和主義」(一九七八)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第三卷第二号

一九八七年

現代中国の法思想Ⅷ・―陳学明「マルクスの初期法哲学観についての初歩的な探求」(一九八四)―『法学研究』(北海

学園大学) 第二二卷第三号

現代中国の法思想Ⅸ・―高銘暄「毛沢東思想が光り輝く中国刑法」(一九八四)―『法学研究』(北海学園大学) 第二三

卷第一号

崔鍾庫「東洋法思想史の課題と方法」(一九八七) ホセ・ヨンパルト、三島淑臣編集『法の理論・8』成文堂

現代中国の法思想Ⅹ・―劉智「毛沢東思想が導く労働改造法学」(一九八五)―『法学研究』(北海学園大学) 第二三卷

第二号

欧陽振「人民民主主義は毛沢東思想法学の基礎である―人民民主主義独裁を論ずる」発表三五周年記念に際して(一

九八四)―『法学研究』(北海学園大学) 第二三卷第二号

一九八八年

現代アジアの法思想(7)―深瀬忠一「放棄戦争興和平的生存権―關於「総合和平保障基本法(草案)的倡議」(一九八七)

―『札幌学院法学』(札幌学院大学)第四卷第二号

現代韓国の刑法論(3)―金龍徳「三・一運動以前の笞刑」(一九六九)―『法学研究』(北海学園大学)第二三卷第三号

現代韓国の刑法論(4)―鄭鍾勗「刑法における〈事物論理構造論〉の起源とその哲學的基礎」(一九六八)―『法学研究』

(北海学園大学)第二四卷第一号

現代アジアの法思想(8)―喬偉「鄧小平同志の法制論」(一九八四)―『札幌学院法学』(札幌学院大学)第五卷第二号

現代中国の法思想Ⅺ―朱華澤・劉昇平「社会主義の本質に關する若干の研究について」(一九八七)―『法学研究』

(北海学園大学)第二四卷第二号

現代中国の法思想Ⅻ―李光燦「マルクス主義刑法学に対する毛沢東の重要な発展」(一九八五)―『法学研究』(北海

学園大学)第二四卷第三号

現代中国の法思想Ⅼ―劉兆興「社会主義初級段階一〇年における民主と法制」(一九八八)―『法学研究』(北海学園

大学)第二五卷第一号

一九九〇年

現代アジアの法思想(9)―張鑫「中国大陆における人権概念」(一九八八)―『札幌学院法学』(札幌学院大学)第六卷第

二号

劉兆興・劉瀚「法学基礎理論」―中国法学四〇年(一九八九)―(1)『法学研究』(北海学園大学)第二六卷第一号

札幌学院法学(二四卷一号)

二二七(二二七)

劉兆興・劉瀚 「法学基礎理論」―中国法学四〇年(一九八九)―(2)『法学研究』(北海学園大学)第二六卷第二号

一九九一年

拉德布魯赫 (Radbruch) 「法哲学上の相对主義」『法学叢書』(中国社会科学院法学研究所、北京・Beijing) 第一期
中国の死刑制度と労働改造(1)―周振想「中国における刑罰の種類に関する諸問題」(一九八六)―『法学研究』(北海学園大学) 第二六卷第三号

現代アジアの法思想(10)―楊殿升「労働改造法学」(一九八九)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第七卷第二号
中国の死刑制度と労働改造(2)―陳広君「我国の死緩制度について」(一九八九)―『法学研究』(北海学園大学) 第二七卷第一号

一九九二年

中国の死刑制度と労働改造(3)―成良文「死緩犯に対する減刑と仮釈放の問題」(一九九一)―『法学研究』(北海学園大学) 第二八卷第一号

現代アジアの法思想(11)―杜鋼建「抵抗主義法学運動と天野和夫の抵抗権思想」(一九九二)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第九卷第一号

沈在宇「韓国における人間の尊厳と抵抗権」(一九九二)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第九卷第一号
中国の死刑制度と労働改造(4)―力康泰「死刑を正しく認識し、適用することについて」(一九八三)―『法学研究』(北海学園大学) 第二八卷第二号

一九九三年

団藤重光「關於廢除死刑」(一九九三)『外国法譚評』(中国社会科学院法学研究所、北京・Beijing)第三期

中国の死刑制度と労働改造(5)―趙秉志「反革命罪に未遂が成立するか否かという問題」(一九八六)―『法学研究』(北

海学園大学)第二九卷第一号

現代アジアの法思想(12)―張弘・童志紅「反革命罪の主観的要件についての略述」(一九八三)―『札幌学院法学』(札幌

学院大学)第一〇卷第一号

梁華仁「中国における反革命の罪」(一九九二)一・『法学研究』(北海学園大学)第二九卷第二号

一九九四年

梁華仁「中国における反革命の罪」(一九九二)二・完『法学研究』(北海学園大学)第二九卷第三号

沈在宇「抵抗権」(一九九二)『北大法学論集』(北海道大学)第四四卷六号

現代アジアの法思想(13)―杜鋼建「非暴力的な反抗と良心的拒絶」(一九九三)―『札幌学院法学』(札幌学院大学)第一

一卷第一号

現代アジアの法思想(13a)―杜鋼建「価値寛容主義と東アジアの社会経済改革及び法文化の発展」(一九九三)―『札

幌学院法学』(札幌学院大学)第一一卷第一号

現代アジアの法思想(13b)―隆仕明「人権主義についての内容と要求についての略述」(一九九三)―『札幌学院法

学』(札幌学院大学)第二一卷第一号

現代中国の人権論(1)―張文顕「人権主体と主体的人権」(一九九二)―『法学研究』(北海学園大学)第三〇卷第一号

札幌学院法学(二四卷一号)

二一九(二一九)

王作富「反革命罪」(一九八八) 鈴木敬夫編訳『中国の死刑制度と労働改造』(成文堂)

沈宗靈「人権はどのような意味における権利か」(一九九一) 鈴木敬夫編訳『中国の死刑制度と労働改造』(成文堂)

郭道暉「人権の階級性と普遍性について」(一九九一) 鈴木敬夫編訳『中国の死刑制度と労働改造』(成文堂)

徐顕明「人権主体論争から導かれる幾つかの理論問題」(一九九二)『法学研究』(北海学園大学) 第三〇巻第二号

張玉凱「寛容主義・一つの新興法学思潮」(一九九三)『法学研究』(北海学園大学) 第三〇巻第二号

一九九五年

現代中国の人権論(3)―夏勇「人権の道徳的基礎について」(一九九二)―『法学研究』(北海学園大学) 第三〇巻第三号

現代中国の人権論(4)―杜鋼建「人権主義についての若干の考察」(一九九二)―『法学研究』(北海学園大学) 第三一巻

第一号

現代アジアの法思想(14)―莫紀宏・徐高「緊急抵抗の概念」(一九九二)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一二巻第

一号

現代中国の人権論(5)―杜鋼建「法哲学と人権」(一九九四)―『法学研究』(北海学園大学) 第三一巻第二号

一九九六年

現代中国の人権論(6)―李步雲「社会主義人権の基本理論と実践」(一九九二)―『法学研究』(北海学園大学) 第三一巻

第三号

現代中国の人権論(7)―杜鋼建「論語四道と新仁学の四主義」(一九九三)―『法学研究』(北海学園大学) 第三二巻第一

号

現代中国の人権論(8)―杜鋼建「寛容の思想と思想の寛容」(一九九六)―『法学研究』(北海学園大学)第三二卷第二号

一九九七年

現代アジアの法思想(15)―杜鋼建「良心意識の新たな構造と良心的自由の保障」(一九九三)―『札幌学院法学』(札幌学院大学)第一三卷第二号

院大学)第一三卷第二号

杜鋼建「中国古代儒学における人権思想」(一九九三)『札幌学院法学』(札幌学院大学)第一三卷第二号

鄭成良「権利本位説」(一九九二)『法学研究』(北海学園大学)第三二卷第三号

信春鷹「人権概念と国際社会における人権観」(一九九二)『法学研究』(北海学園大学)第三二卷第三号

一九九八年

韓国商法における会社犯罪―孫珠瓚教授および李鐘元教授の所説を中心として―『札幌学院法学』(札幌学院大学)第一四卷第二号

一四卷第二号

古拉斯・迪得莫(K. Tiedemann):『経済刑法的解釈』『札幌学院法学』(札幌学院大学)第一五卷第一号

徐顕明「生存権論」(一九九五)『札幌学院法学』(札幌学院大学)第一五卷第一号

沈在宇「韓国の伝統文化と法」(一九九八)『二一世紀のアジアと日本の国際化』I.V.P.大阪シンポジウム論集(日本

法哲学学会、大阪商工会議所)

一九九九年

中国・韓国における法人の刑事責任論(1)―何秉松「人格化した社会システムの責任論」(一九九二)―『札幌学院法学』

(札幌学院大学) 第一五卷第二号

金日秀「法人の刑事責任」(一九九六)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一五卷第二号

申虎根「中国新刑法における単位犯罪に関する規定について」(一九九八)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一五卷

第二号

中国・韓国における法人の刑事責任論(2)―張文「法人犯罪問題に関する再研究」(一九九四)―『札幌学院法学』(札幌

学院大学) 第一六卷第一号

張榮敏等「抽象的危険犯と法人に対する処罰」(一九九三)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一六卷第一号

朴貞根「法人の刑事責任」(一九八七)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一六卷第一号

二〇〇〇年

中国・韓国における法人の刑事責任論(3)―姜榮喆「企業組織体犯罪の刑事責任」(一九九三)―『札幌学院法学』(札幌

学院大学) 第一六卷第二号

陳広君「法人犯罪のいくつかの問題について」(一九八六)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一六卷第二号

高銘暄等「法人犯罪に関する若干の問題」(一九八六)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一六卷第二号

朴榮吉「株主代表訴訟―韓国における株主代表訴訟論の一側面―」『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一七卷第一号

中国・韓国における法人の刑事責任論(4)―趙炳宣「両罰規定と法人の刑事責任」(一九九五)―『札幌学院法学』(札幌

学院大学) 第一七卷第一号

崔慶森「法人の犯罪について」(一九九〇)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一七卷第一号

趙秉志「法人は犯罪主体になつてはならないことに関する一考察」(一九八九)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一七卷第一号

二〇〇一年

韓国の国家保安法廃止論考(1)―任雄「政治犯罪の非犯罪化―国家保安法廃止論」(一九九九)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一七卷第二号

梁建「国家保安法違憲論」(一九九〇)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一七卷第二号

金日秀「国家保安法廃止に関する所見」(一九八九)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一七卷第二号

韓国の国家保安法廃止論考(2)―南宮鎬卿「国家保安法の解釈論的考察」(一九八九)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一八卷第一号

鞠淳玉「国家保安法の廃止とその後の諸問題」(一九八八)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一八卷第一号

康錦實「国家保安法第七条第五項限定合憲決定に関して」(一九九〇)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一八卷第一号

二〇〇二年

中国・韓国における法人の刑事責任論(5)完―陳興良「法人犯罪に対する法理論分析」(二〇〇〇)―『札幌学院法学』

(札幌学院大学) 第一八卷第二号

劉根菊・史立梅 「単位犯罪における被訴追者の確定」(一九九九)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一八卷第二号

權文澤 「両罰規定の業務主体の責任」(一九七七)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一八卷第二号

労働矯正か教育強制か―陳光中・王平 「中国の労働矯正制度とその改革」(二〇〇一)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一九卷第一号

陳澤憲 「労働矯正制度とその改革」(二〇〇〇)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一九卷第一号

杜鋼建 「労働矯正制度と人身の自由保障」(一九九六)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一九卷第一号

申致宰 「刑罰の教育的意味と矯正理念の新しい方向―ロゴセラピーの方法論の導入について―」(一九九六)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一九卷第一号

二〇〇三年

東アジアにおける死刑廃止論考(一)―蘇俊雄 「死刑制度と理性的批判」(二〇〇〇)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一九卷第二号

夏勇 「死刑と《最も重大な犯罪》―市民的及び政治的権利に関する国際規約 第六条第二項に対する評採―」(二〇〇〇)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一九卷第二号

沈在宇 「人間の尊厳と死刑廃止論」(一九九八)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一九卷第二号

郭道暉 「中国の特色をもつ死刑制度について」(一九八五)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一九卷第二号

金日秀 「韓国における死刑廃止運動の展開と展望」(一九九九)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第一九卷第二号

韓国における法治国家と市民的不服従論―沈在宇「市民的不服従と抵抗権」(二〇〇一)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第一号

朴恩正「法治国家と市民的不服従」(二〇〇一)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第一号

卞鐘弼「市民的不服従と国会議員候補落薦・落選運動の正当化問題」(二〇〇一)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第一号

二〇〇四年

拉德布魯赫 (Radbruch) : 階級法与法理念 (一九二九) 『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第二号

拉德布魯赫 (Radbruch) : 法的理念 (一九五九) 『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第二号

東アジアにおける死刑廃止論考 (二) ―陳興良「死刑存廢の当為と存在」(二〇〇三)―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第二号

陳興良「生命刑」(二〇〇一)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第二号

陳澤憲「死刑適用の厳格化について」(二〇〇三)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第二号

彭聖斐「死刑の存廢について―死刑存置論と死刑廃止論を中心として―」(一九九七)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第二号

許一泰「韓国の死刑制度の違憲性」(一九九八)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第二号

李壽成「刑罰の理念的脈絡からみた死刑制度」(一九九〇)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二〇卷第二号

王泰升「植民地下台湾の弾圧と抵抗」(二〇〇四)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二一卷第一号

二〇〇五年

東アジアにおける死刑廃止論考(三)―韓寅燮「歴史的遺物としての死刑…その法理論的・政策的検討…」(一九九九)

『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二一巻第二号

金政友「死刑制度を廃止するための神学的弁論」(一九九九)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二一巻第二号

李震山「裁判官が法に依拠して死刑判決することについて」(二〇〇一)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二一巻第

二号

釧作俊「死刑の司法現状とその展望」(二〇〇二)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二一巻第二号

傳義・陳林林「死刑の根拠を反省する・応報の観点から政治の観点へ」(二〇〇二)『札幌学院法学』(札幌学院大学)

第二一巻第二号

趙秉志「非暴力的犯罪に対して死刑を次第に廃止する問題」(二〇〇四)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二一巻第

二号

金澤文雄「死刑廃止の提唱」韓国語(一九九九)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二一巻第二号

梁啓超の人権思想―杜鋼建著《中国近百年人権思想(二〇〇四)》―『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二二巻第一号

黄山徳著『法哲学講義』第四訂再版一九八五年(1)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二二巻第一号

沈憲燮「石寓黄山徳における自然法と法実証主義(二〇〇一)」『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二二巻第一号

黄山徳著『法哲学講義』第四訂再版一九八五年(2)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二二巻第二号

黄山徳著「私의法哲学」(一九八七)『札幌学院法学』(札幌学院大学) 第二二巻第二号

二〇〇六年

黄山徳著『法哲学講義』第四訂再版一九八五年(3)完『札幌学院法学』（札幌学院大学）第二三卷第一号

二〇〇七年

邱興隆「死刑の道德性」（二〇〇三）鈴木敬夫編訳『東アジアの死刑廃止論考』成文堂

許成磊「経済犯罪の死刑に関する立法及びその廃止問題」（二〇〇四）鈴木敬夫編訳『東アジアの死刑廃止論考』成文堂

葉雲蘭・盧文霞「死刑廃止に対する死緩刑の意味」（二〇〇四）鈴木敬夫編訳『東アジアの死刑廃止論考』成文堂

V・解説・書評など

一九七一年

イタイイタイ病公害事件―法における疫学的考察方法の意義―『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第七号

一九七二年

朝鮮民主主義人民共和国創建祝賀団入国事件―在日朝鮮女性同盟祝賀団再入国不許可にふれて―『論集』（札幌商科大学・札幌短期大学）第八号

大韓民国尹秀吉政治亡命事件―政治犯罪人不引渡し原則を国際慣習法の成否―『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第九号

一九七三年

八幡・富士製鉄合併事件―同意審決と私的独占禁止法第一五条の法理―『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第一〇号

企業経営の法律感覚『商工につぼん』(日本商工振興会) 九月号

商法改正案における監査役及び会計監査―監査制度改正案の概観―『商工につぼん』(日本商工振興会) 一〇月号

商法改正案の重点解説―中間配当、累積投票、抱合せ投資、時価転換社債、会計慣行的規定導入等の概観―『商工につ

ぼん』(日本商工振興会) 一一月号

百貨店法改正と消費者利益確保―大規模小売店舗における小売業活動の調整に関する法律案の背景―『商工につぼん』

(日本商工振興会) 一二月号

一九七四年

物価高騰、石油危機と統制立法の復活―物価統制令及び買占め等防止法の改正と国民生活安定緊急措置法案を中心と

して―『商工につぼん』(日本商工振興会) 一月号

現代における踏み絵と企業自由―三菱樹脂訴訟判決と人権思想―『商工につぼん』(日本商工振興会) 二月号

近代的経済犯罪と公取委の告発―石油値上協定と生産制限をめぐる―『商工につぼん』(日本商工振興会) 四月号

会社資金による新株払込の保管証明をした取引銀行の責任 『論集』 (札幌商科大学・札幌短期大学) 第一二号

合名会社の社員の責任 『商工につぼん』 (日本商工振興会) 四月号

刑法の応報刑化と企業秘密漏示罪の新設 『商工につぼん』 (日本商工振興会) 五月号

韓国における人権宣言 『商工につぼん』 (日本商工振興会) 五月号

一株告発と商法の法理―チツソ(株)株主総会決議取消判決を中心として― 『商工につぼん』 (日本商工振興会) 六月号

商法改正に伴う定款の変更 『商工につぼん』 (日本商工振興会) 七月号

中小企業における監査役職務権限―資本の額が一億円以下の株式会社に関する特例― 『商工につぼん』 (日本商工振興会) 八月号

興会) 八月号

一年決算制の導入と中間配当―いわゆる金銭の分配と取締役職務権限― 『商工につぼん』 (日本商工振興会) 九月号
マンションの分譲と敷地の利用―建物の区分所有等に関する法律を中心として― 『商工につぼん』 (日本商工振興会)

九月号

労働運動と改正刑法草案―応報刑・重罪刑下の労働刑事事件― 『商工につぼん』 (日本商工振興会) 一〇月号

企業分割と大規模会社の株式保有制限―独禁法化改正、公取委議案を中心として― 『商工につぼん』 (日本商工振興会)

一一月号

債権回収と代物弁済予約の仮登記―債務者保護の最高裁判決を中心として― 『商工につぼん』 (日本商工振興会) 一二

月号

一九七五年

会社財産危殆罪をめぐる諸問題―日本熱学工業(株)事件における粉飾決算及び株価操作を中心として―『商工につぼん』

(日本商工振興会) 一月号

テナント契約と借家法の適用『商工につぼん』(日本商工振興会) 三月号

不動産鑑定評価をめぐる諸問題―取引事例比較方式から収益還元方式への変更―『商工につぼん』(日本商工振興会)

三月号

自動車交通事故と『信賴の原則』―信賴の相当性とクリーン・ハンドの原則をめぐる―『商工につぼん』(日本商工

振興会) 四月号

代物弁済契約と債務者の保護―最高裁大法廷判決(9.10.23)を中心として―『北海道経済』(北海道経済研究所) 五

月号

海洋法におけるエコノミック・ゾーン―第三次海洋法会議をめぐる諸問題―『商工につぼん』(日本商工振興会) 五月

号

薬事法における営業の自由―距離制限に対する最高裁判決(50.4.30)を中心として―『商工につぼん』(日本商工振興

会) 六月号

一九七六年

現代韓国における「法哲学」関係の文献資料『論集』(札幌商科大学・札幌短期大学) 第一八号

一九七七年

子供をめぐる法律問題（上）保育所と幼児の事故『北の赤ちゃん』一月号

提言「秘密経営」から「開かれた経営」へ『ろんだん』一月号

子供をめぐる法律問題（中）幼児と自動車交通事故『北の赤ちゃん』二月号

子供をめぐる法律問題（下）デパートにおける幼児の事故『北の赤ちゃん』三月号

一九八〇年

N・ボビオ他編『事物の本性論』（原秀男、栗田睦雄訳）『立正法学』（立正大学）第一三卷第一・二号

土屋四郎先生の人と思想―土屋四郎著述「権利濫用論」（一九三三）―『論集』商経編（札幌商科大学・札幌短期大学）

第二六号

一九八五年

韓国・中国におけるG・ラートブルッフ『鄭鐘勗追悼論集』成文堂

原秀男教授の人と思想『法の理論・5』成文堂

一九八七年

東アジアの法学者たち―中国・台湾・韓国の固有文化に根ざして―『現代の法哲学者たち』長尾龍一編著（日本評論社）

一九九三年

『世界単位』と相対主義 『法学セミナー』 第四六二号

当代中国人権思想 『当代学術信息』 浙江省社会科学学院 (中国・杭州・Kangzhou)

一九九四年

近年亜州抵抗権理論研究 『当代学術信息』 浙江省社会科学学院 (中国・杭州・Kangzhou)

一九九六年

朝鮮における時局関係法規について 『朝鮮時局関係法規』 朝鮮総督府企画部編纂全二巻 (紀伊国屋書店)

二〇〇五年

自然法と事物の本性―法整備支援と寛容―“CALE MEWS” NO15 (名古屋大学法政国際教育協力センター)

VI. 学会発表・研究会発表

一九七三年

「一株へ告発」運動と商法の法理―チッソ(株)第四二回株主総会決議取消判決を中心として― 北海学園大学経済学部

ゼミナール連合(北海学園大学生協会館) 一九七三年九月

一九七四年

「企業経営と最近の商法改正をめぐる諸問題」 北海道産業経理協会・札商大・札短大会計学研究所(北海道経済センター)

タ― 一九七四年五月

「株主総会における株主の議案提案権及び解説請求権―特にチッソ(株)第四二回株主総会決議取消大阪地裁判決をめ

ぐる―」 北海学園大民事法研究会(北海学園大学) 一九七四年一月

一九七七年

「総会屋による株主総会の議事の妨害と威力業務妨害罪及び強要罪の成否(判例研究)」(東京地裁昭和五〇年(刑わ)

第一九八〇号・第二五九〇号威力業務妨害、強要事件・同年十二月二六日刑事第一〇部判決・確定) 札幌商科大

学民事法研究会(札幌商科大学) 一九七七年二月

「経済犯罪と可罰的違法性をめぐる諸問題」 札幌商科大学民事法研究会(札幌短期大学) 一九七七年五月

「株式の仮装払込みをめぐる民事責任と刑事責任」 北海道大学商法研究会（北海道大学）一九七七年七月

「林文雄 (Lin Wen-Shyong) 著述『G・ラートブルッフの自然法論（一九七六）』を読んで——中華民国法哲学会の側面」 札幌商科大学民事法研究会（東日本学園大学）一九七七年八月

一九七八年

「李恒寧の法哲学——韓国法哲学の側面——」 札幌商科大学民事法研究会（北海道拓殖短期大学）一九七八年二月

「株主総会と総会屋をめぐる贈収賄罪の成立」 北海道大学刑事法研究会（北海道大学）一九七八年五月

「商法第四九四条における『不正の請託』と会社犯罪」 札幌商科大学民事法研究会（札幌商科大学）一九七八年七月

「日本における公害罪法の解釈と適用」 漢陽大学校海外開発研究所研究会（韓国・Seoul）一九七八年八月

「日本における最近の最高裁判例——全通名古屋中郵便事件と可罰的違法性の理論——」 台湾大学法学会（台湾・台北・Taipei）一九七八年八月

「沈在宇 (Shim Zai-woo) 教授のラートブルッフ論」 札幌商科大学民事法研究会（札幌商科大学）一九七八年十一月

一九七九年

「現代韓国と台湾における法哲学の潮流」 札幌商科大学現代法研究会（定山溪第一ホテル）一九七九年七月

一九八一年

「日本刑法改正問題の動向」 東国大学校比較法学研究会・College of Law, Dongguk University, 東国大学校法科大

学（韓国・Seoul）一九八一年三月

一九八五年

「G・ラートブルッフの思想体系における価値相対主義―拙稿『価値相対主義小考』を中心として―」第五回札幌学院大学法学会研究会（札幌学院大学）一九八五年五月

一九八七年

「法における戦争と平和―日本国憲法における平和的生存権の自然法的意義―」北京大学法学院政治教研・Law School of Peking University, 北京大学法学院（中国・北京・Beijing）一九八七年一月
「中国の死刑制度について―高銘暄著述『一部閃輝着毛沢東思想光輝的刑法（一九八四）』を中心として―」札幌学院大学現代法研究所研究会（札幌学院大学）一九八七年七月

一九八八年

「戦前朝鮮における朝鮮教育令の変遷」第一五回札幌学院大学法学会研究会（札幌学院大学）一九八八年七月

一九八九年

「劉兆興他著述…社会主義初期段階における法制建設に関する若干の理論問題の研究―一九八八年・中国全国法学基礎理論研究会年次総会の総括―」札幌学院大学現代法研究所研究会（札幌学院大学）一九八九年二月

「鈴木敬夫編訳『現代中国の法思想』について」第一八回札幌学院大学法学会研究会（札幌学院大学）一九八九年一〇月

一九九〇年

「法による朝鮮植民地支配：戦前朝鮮における治安維持法の解釈と適用…」第三回朝鮮学国際学術討論会、北京大学・大阪経済法科大学共催（大阪国際交流センター）一九九〇年八月

一九九二年

「法実証主義と自然法―黄山徳博士与李恒寧博士の法理論を中心として―」国際法哲学及び社会哲学学会 I. V. R 韓国支部研究会（韓国・Seoul）一九九二年一〇月

「現代韓国における抵抗権論の展開」中国人民大学憲法與民主政治国際学術研討会・Law School, Renmin University of China, 中国人民大学法学院（中国・北京・Beijing）一九九二年一二月

一九九三年

「戦前台湾における治安法：朝鮮植民地統治法との比較…」中華民国中日比較文化学会・淡江大学日本文化研究所（台湾・台北・Taipei）一九九三年三月

「中国における政治体制改革派の人権思想」韓国亜州太平洋公法学会・College of Law, Dongguk University, 東国大学校法科大学（韓国・Seoul）一九九三年一〇月

一九九四年

「中国の人権思想と労働改造」 第三回専修大学鳳緑学会（専修大学）一九九四年一月

「抵抗権正当化根拠としての儒教思想小考…中国における価値相対主義と抵抗権論」 国際共同研究・日韓比較法文化

研究会（韓国・雪嶽山）一九九四年一〇月

一九九五年

「現代中国の人権論争にみる先進性」 第一四届亜細亞太平洋法協大会・Law Asia Conference, 中国法学会共催、北京飯店（中国・北京・Beijing）一九九五年八月

一九九六年

「良心の自由と言論の自由…杜鋼建教授の良心意識論」 中国人民大学憲法研究中心研討会・Law School, Renmin University of China, 中国人民大学法学院（中国・北京・Beijing）一九九六年九月

「思想解放と言論開放…法実証主義と個人の尊重」 中国政法大学憲法研究中心研討会・China University of Political Science and Law, 中国政法大学法律系（中国・北京・Beijing）一九九六年九月

一九九七年

「近代日本法制与孫文三民主義的影響」 中国法律史学研究会・Northwest University of Political Science and Law, China, 中国西北政法学院（中国・西安・Xian）一九九七年九月

「在日本株主代表訴訟制度」 吉林省経済法学研究会・Faculty of Law, Jilin University, 吉林大学法学院 (中国・長春・Changchun) 一九九七年九月

一九九八年

「東亜社会における法の風土的性格」 東アジア法哲学会・韓国セクション・Yonsei University, 延世大学 (韓国・Seoul) 一九九八年一〇月

一九九九年

Einführung der Strafbarkeit von juristischen Personen in den Neufassung der China-Strafrecht; Seminar für Wirtschaftsstrafrecht, Institut für Kriminologie und Wirtschaftsstrafrecht der Universität Freiburg, 01. October 1999 (Germany, Freiburg)

二〇〇〇年

「法人の可罰性と組織責任…ヨーロッパ評議会の勧告をめぐって」 第六〇回札幌学院大学法学会研究会、(札幌学院大学) 二〇〇〇年七月

「会社役職員の刑事責任とその限界」 札幌学院大学現代法研究所研究会 (札幌学院大学) 二〇〇〇年一〇月

「法律上の不法と良心的抵抗…植民地下治安維持法と韓国国家保安法」 第二回日韓学術交流セミナー (日本大学総合研究所) 二〇〇〇年一月

「転換期の東アジア：中国・韓国における人権論の新思潮」 第二回アジア法研究会（名古屋大学大学院国際開発研究科）二〇〇〇年十一月

二〇〇一年

「矯正における人間の尊厳と問主体性：東アジアの矯正論とその課題」 韓国矯正学会、韓国芸術の殿堂（韓国・Seoul）
二〇〇一年六月

「中国の刑事司法と労働教養制度の廃止」 法学研究所刑事法研究中心・Institut of Law, Chinese Academy of Social Sciences, 中国社会科学院法学研究所（中国・北京・Beijing）二〇〇一年十一月

二〇〇二年

「転変时期的法治与人権：從“刀治”到“水治”的転変」 第四届亞州法哲学研討会、香港大学法学院・Faculty of Law, University of Hong Kong, 香港大学黄麗講堂（中国・香港・Hong Kong）二〇〇二年一月

Macht und Gesetz, Uber “Umerziehung durch Arbeit” in China. Menschenrecht Seminar 2002. Fruhling, amnesty international Germany, ai-Buro Frankfurt, 20 Marz 2002. (Germany, Frankfurt)

“Gesetzliches Unrecht” in Denken Arthur Kaufmann. Value Pluralism, Tolerance and Law in memoriam of Prof.

Dr. Arthur Kaufmann, 二〇〇二年法理学国際學術研討会・Department of Law, Taipei University, 台北大学
法律系（台湾・台北・Taipei）二〇〇二年四月

「植民地下治安維持法的特色：戦前日本統治下台湾」 全国外国法制史研究会第一五届年会・Faculty of Law, Guizhou

University, 貴州大学法学院, 花溪栖碧山莊 (中国・貴陽・Guiyang) 二〇〇二年八月

「拉德布魯赫对自然法与実証法衝突的見解：批判不寛容的労働教養制度」 記念華東政法学院創設五〇周年国際學術研

究会・East China University of Politics and Law, 華東政法学院、華東学院研究院楼大講堂 (中国・上海・

Shanghai) 二〇〇二年一〇月

「価値相对主義法哲学・寛容与不寛容」 中・日・韓法哲学与經濟法學術研討会・Law School of Shanghai University,

上海大学法学院、上海大学楽乎新楼大講堂 (中国・上海・Shanghai) 二〇〇二年十一月

二〇〇三年

「拉德布魯赫法哲学思想価値」 中国比較經濟學研究会、中国科学技術会堂 (中国・北京・Beijing) 二〇〇三年三月

「論相对主義現代意義：对司法独立正当程序的合理訴求」 黒大憲法・法理学教研・Law School of Heilongjiang Uni-

versity, 黒竜江大学法学院 (中国・哈爾濱・Harbin) 二〇〇三年三月

「価値相对主義及其現代意義」 法理・法史学教研・Law School of Henan University, 河南大学法学院 (中国・開封・

Kaifeng) 二〇〇三年三月

「論価値相对主義与現代人權」 現代中国法理学与刑事法學研討会・Institute Law, Chinese Academy of Social Sci-

ence, 中国社会科学院法学研究所 (中国・北京・Beijing) 二〇〇三年三月

「拉德布魯赫对自然法与実証法衝突見解：批判不寛容的労働教養制度」 現代中国刑事司法研討会・Southwest Uni-

versity of Political Science and Law, 西南政法大学法学院 (中国・重慶・Chongqing) 二〇〇三年一〇月

「評作為実定法的《労働教養制度》的不法：論拉德布魯赫価値相对主義現代意義」 深圳大学法学院創設二〇周年記念

講演・Shenzhen University, Law School, 深圳大学法学院 (中国・深圳・Shenzhen) 二〇〇三年一〇月

二〇〇四年

「国民接受教育的権利」 中国太平洋学会、稻香湖景酒店 (中国・北京・Beijing) 二〇〇四年八月

「拉德布鲁赫的晚年課題」 第二屆國際拉德布鲁赫研討会、稻香湖景酒店 (中国・北京・Beijing) 二〇〇四年八月

「李恒寧博士の法哲学・風土的自然法論」 韓国法哲学会二〇〇四年秋季學術大会、弘益大学校 (韓国・Seoul) 二〇〇

四年一月

二〇〇五年

“Kriminale Schuld der juristischen Person und Todesstrafe in China”: Institut für Kriminologie und Wirtschaftsstrafrecht, Albert-Ludwigs-Universität Freiburg, Deutschland, am 7 März 2005 (Germany, Freiburg)

「論法的効力—拉德布鲁赫的法哲学的意義」 中国全国西方法律思想史研究会・Department of Law Shantou University, 汕頭大学法学院 (中国・汕頭・Shantou) 二〇〇五年四月

「日本における国歌・君が代訴訟問題」第二〇回 Jurist Forum' 韓・中・日國際學術研究会・School of Law, Chungbuk-

National University, 忠北大学校法学研究所 (韓国・清州・Chengjin) 二〇〇五年六月

“Todesstrafe und Menschenwürde ... Todesstrafe in Ostasien”; Universitätsbibliothek Wien organisierten Forum.

Forum Für Bürger: Rechtssysteme in fremden Kulturen, Österreich, am 7 September 2005 (Austria, Wien)

二〇〇六年

「梁啓超の人権思想―とくに『自由を放棄する罪』について」 日本博多国際仁学院、JAL福岡海鷹酒店、二〇〇六年二月

「経済犯罪与死刑―権威主義刑法的仁学批判」 中国政策科学研究会公共政策委員会・亜州投資政策与経済貿易論壇、JAL福岡海鷹酒店、二〇〇六年三月

VII・講演・講座など

一九七一年

「在日韓国人の法的地位―出入国管理法（案）をめぐる諸問題」 札幌アジア・アフリカ連帯委（北海道社会保険会館）
一九七一年六月

一九七三年

「不動産取引に関する諸問題―代物弁済予約と担保物件の関連を中心として―」 全日本不動産管理経営協会（帯広酪農会館）一九七三年一〇月

「現代における不動産担保に関する諸問題―不動産取引と抵当権の法理―」 北海道行政書士会（札幌都市会館）一九七三年一月

一九七四年

「不動産取引に関する諸問題―借地・借家法改正を中心として―」 全日本不動産管理経営協会（旭川商工会議所）一九七四年二月

「不動産取引に関する諸問題―判例にみる日照権の法理―」 全日本不動産管理経営協会（帯広商工会議所）一九七四年三月

「不動産取引に関する諸問題―建物の区分所有等（マンション）に関する法律を中心として―」 全日本不動産管理経営協会（稚内商工会議所）一九七四年四月

「改正商法と定款の変更等・改正商法の諸課題」 北海道商工会議所連合会（苫小牧商工会議所）一九七四年五月

「現代法における人権思想―特に刑法改正準備草案の思想的背景を中心として―」 北海道立保育専門学院特講（北海道立保育専門学院）一九七四年六月

「宅地建物取引業法における今日的課題―宅地造成等に伴う環境破壊と不動産取引―」 国家試験北海道研修センター（札幌市民会館）一九七四年七月

「改正商法における固定資産の評価―不動産の鑑定評価の実際―」 全日本不動産管理経営協会（釧路商工会議所）一九七四年八月

「改正商法の実施に伴う定款変更の実際―改正商法の要点と問題点―」 北海道学術出版（小樽医師会館）一九七四年八月

「刑法改正草案の思想的傾向―とくに企業秘密漏洩罪の新設を中心として―」 江別・大麻新婦人の会（第二住区会館）一九七四年九月

- 「刑法改正草案の思想的傾向―人権擁護と労働刑事事件―」 函館港湾労働組合（函館市民会館）一九七四年九月
- 「刑法改正草案の思想的傾向―労働刑事事件判例を中心として―」 帯広市交通労働組合（帯広酪農会館）一九七四年九月
- 「改正商法の実施に伴う会社設立の実際―特に中小企業を中心として―」 北海道中小企業家同友会（札幌中小企業家同友会）一九七四年一〇月
- 「自動車交通事故と民事訴訟手続」 全国交通障害保険協会（弘前市立りんご商業会館）一九七四年一〇月
- 「改正商法の実施に伴う定款変更の実際―改正商法の要点と問題点―」 江別商工会議所（江別市民会館）一九七四年一月
- 「代物弁済予約の仮登記の効力をめぐる最高裁判決を中心として―」 全日本不動産管理経営協会（旭川市公会堂）一九七四年一月
- 「手形犯罪をめぐる諸問題―とくに約束手形の偽造・変造及びその行使を中心として―北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九七四年八月
- 「改正商法の実施に伴う諸問題―資本の額が一億円以下の株式会社の特例について―」 税務大学校札幌研修所（札幌・税務大学校）一九七四年一二月
- 「会社財産危殆罪をめぐる諸問題―日本熱学工業(株)における粉飾決算・自己株取得・株価の不正操作を中心として―」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九七四年一二月
- 「現代不動産法をめぐる諸問題―農地・山林・原野の売買を中心として―」 札幌営林局職員研修講座（北海道林業講習所）一九七四年五月

一九七五年

「自動車交通事故と過失の認定—いわゆる〈信頼の原則〉をめぐる札幌高裁判決を中心にして—」 全国交通損害保険

協会（札幌健保会館）一九七五年一月

「自動車交通事故と示談契約をめぐる諸問題—刑事法廷における量刑との関わりについて—」 全国交通損害保険協会

（苫小牧市民会館）一九七五年一月

「現代債権法の動向—とくに代物弁済予約の仮登記の効力をめぐる最高裁判決を中心として—」 北海道行政書士会

（札幌・都市会館）一九七五年三月

「不動産取引と譲渡所得税をめぐる諸問題」 全日本不動産管理経営協会（江別市民会館）一九七五年三月

「不動産担保と鑑定評価に関する諸問題」 全日本不動産管理経営協会（網走市民会館）一九七五年四月

「被害者の過失と損害賠償責任—札幌高裁・交通事故による業務上過失致死事件判決（49.12.5）をめぐる—」 全国

交通損害保険協会（北見市民会館）一九七五年四月

「宅地建物取引業法における誇大広告等の禁止」 全日本不動産管理経営協会（仙台市民会館）一九七五年五月

「ビル管理とテナント契約をめぐる諸問題」 全国ビル管理経営協会（室蘭産業会館）一九七五年五月

「スーパー、デパートへの出店とテナント契約をめぐる諸問題」 全国信用金庫連合会（旭川市民会館）一九七五年五

月

「自動車交通事故と損害賠償責任—損害賠償額の算定及び保険会社の示談代行をめぐる問題点—」 全国交通損害保険

協会（留萌福祉センター）一九七五年六月

「アパート営業と不動産所得税をめぐる諸問題」 全日本不動産管理経営協会（倶知安町文化センター）一九七五年六

月

- 「自動車交通事故と被害者側の過失」 全国交通損害保険協会（札幌・北農健保会館）一九七五年七月
- 「改正商法と企業監査制度をめぐる諸問題」 国税不服審判所（札幌国税不服審判所）一九七五年八月
- 「行政法をめぐる現代的課題―行政庁の関与と『法律による行政』をめぐる―」 札幌管林局職員研修講座（札幌管林局研修所）一九七五年九月

一九七六年

- 「不動産取引と税法上の諸問題―とくに譲渡所得における『必要経費』の概念をめぐる解釈について―」 全日本不動産管理経営協会（小樽市民会館）一九七六年一二月
- 「職業病の認定と労働災害補償」 全林野労連（士別市民会館）一九七六年一二月
- 「会社犯罪をめぐる諸問題―会社荒らし等に関する増収賄罪を中心として―」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九七六年一二月

一九七七年

- 「自動車交通事故と使用者の責任―とくに『業務上の過失』について―」 全国交通損害保険協会（滝川市民会館）一九七七年一月
- 「交通事故と業務上過失致死傷罪の解釈・適用をめぐる―」 全国交通損害保険協会（釧路市民会館）一九七七年四月
- 「不動産取引と刑事責任―とくに二重抵当と背任罪の成否―」 全日本不動産管理経営協会（芦別市青年センター）一

九七七年七月

「道路交通法の解釈と適用―とくに刑法第二一八条一項と道交法第七二条一項との相違に関して―」 全国交通損害保険協会（遠軽町福祉センター）一九七七年八月

「売買契約は成立しているか―マルチ商法と訪問販売等に関する諸問題―」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九七七年六月

「経済取引と犯罪―詐欺、横領、背任を中心として―」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九七七年一月
二月

「最高裁名古屋中郵便事件判決（五月一四日）を中心として―とくに労働基本権と可罰的違法性の理論にふれて―」 札幌営林局職員研修講座（札幌営林局研修所）一九七七年五月

一九七八年

「不動産の二重売買と横領罪の成否」 全日本不動産管理経営協会（室蘭市労働会館）一九七八年一月

「自動車交通事故と業務上過失致死傷罪（未必の故意）の成立」 全国交通損害保険協会（名寄市民会館）一九七八年五月

「教科書『商業法規』をめぐる諸問題」 全国高等学校社会科連協夏期研修会（定山溪グランドホテル）一九七八年八月

「不動産取引と詐欺罪の成否」 全日本不動産管理経営協会（札幌都市会館）一九七八年九月
「有事立法問題をめぐって」 明和学園教職員組合（札幌商科大学）一九七八年一〇月

「粉飾決算をめぐる犯罪―とくに不二サッシ粉飾決算事件と特別背任罪の成立―」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九七八年一二月

一九七九年

「海水汚濁と不法行為責任」 北海道漁業協同組合学校法学特講（北海道漁業協同組合学校）一九七九年四月

「自動車交通事故と会社経営者の責任」 後志支庁地区交通安全推進協議会（小樽市労働会館）一九七九年四月

「自動車交通事故と過失相殺の適用」 全国交通損害保険協会（名寄農協会館）一九七九年五月

「自動車交通事故・業務上過失致死傷罪と不法行為責任」 全国交通損害保険協会（北見商工会議所）一九七九年一月

「不動産取引と詐欺罪・横領罪の成否」 全日本不動産管理経営協会（稚内商工会議所）一九七九年七月

「債務不履行と債権者代位権をめぐる問題点」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九七九年一月

「会社役員員の刑事責任―とくに不良貸付と特別背任罪の成否―」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九七九年一二月

「最高裁判決にみられる労働基本権―全通名古屋中郵便事件をめぐる憲法第二八条と労組法第一条二項の考え方を中心に―」 札幌営林局職員研修講座（札幌営林局研修所）一九七九年六月

一九八〇年

「自動車交通事故をめぐる民事責任と刑事責任」 全国交通損害保険協会（紋別公民館）一九八〇年一〇月

「生活と刑法―刑法改正問題を中心として―」 札幌商科大学主催江別市民講座（江別市大麻公民館）一九八〇年一月

一九八一年

- 「海の汚染と法規制」 北海道漁業協同組合学校法学特講（北海道漁業協同組合学校）一九八一年四月
- 「割賦販売法をめぐる諸問題」 江別消費者協会（江別市青少年センター）一九八一年五月
- 「経営権と企業の社会的責任」 中小企業家同友会（同友会本部）一九八一年六月
- 「消費者保護法の課題」 江別消費者協会（江別市民会館）一九八一年九月
- 「刑法改正問題と死刑廃止論」 札幌商科大学法学部学生自治会（札幌商科大学）一九八一年一〇月
- 「債権の回収をめぐる担保問題」 江別中小企業協連（大麻東町会館）一九八一年一〇月
- 「不動産賃借権の物権化」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九八一年一二月
- 「人権としての平和的生存権の概念」 札幌営林局職員研修講座（札幌営林局研修所）一九八一年五月

一九八二年

- 「資源保護と海洋法の課題」 北海道漁業協同組合学校法学特講（北海道漁業協同組合学校）一九八二年五月
- 「商法改正と取締役の忠実義務違反」 北海道中小企業家同友会（札幌中小企業同友会講堂）一九八二年八月
- 「監査役の業務監査と会計監査をめぐる」 北海道中小企業家同友会（札幌中小企業同友会）一九八二年九月
- 「連帯債務と保証債務に関する最近の判例」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九八二年一月

「行政救済法の課題―行政上の無過失責任について―」 札幌営林局職員研修講座（札幌営林局研修所）一九八二年六月

一九八三年

「会社役職員の刑事責任―とくに取締役の背任・不信行為に関して―」 北海道中小企業家同友会（札幌中小企業同友会）一九八三年六月

「国家と領海―日韓漁業問題をめぐって―」 北海道漁業協同組合学校法学特講（北海道漁業協同組合学校）一九八三年九月

「改正会社法における利益供与罪について」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九八三年五月
「法律による行政とは何か―最近の判例を中心に―」 北海道営林局職員研修講座（札幌営林局研修所）一九八三年七月

「公務員とモラル」 苫小牧市役所職員研修講座（苫小牧市役所）一九八三年十一月

一九八四年

「不法行為の今日的課題・被害者本人の損害賠償請求権の相続性」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九八四年七月

一九八五年

「外登法と指紋押捺をめぐる最近の判例について」 北海道中小企業家同友会（北海道中小企業同友会）一九八五年七月

「商法における犯罪―特別背任罪の成否―」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九八五年九月

「公務員の法とモラル―定住外国人の指紋押捺問題をめぐって―」 苫小牧市役所職員研修講座（苫小牧市労働福祉センター）一九八五年六月

一九八六年

「消費者保護・特に売主の瑕疵担保責任と買主の保護」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九八六年二月

「公務員の法意識―法と道徳―」 苫小牧市役所職員研修講座（苫小牧市労働福祉センター）一九八六年五月

「現代法をめぐる諸問題―とくに法の下での平等と権利濫用の問題から人間の尊厳を考える―」 江別市役所職員研修講座（江別市民会館）一九八六年一〇月

一九八七年

「毛沢東の刑法思想―死刑執行猶予制度及び労働改造制度などを中心にして―」 韓国高麗大学校法科大学特別講演・

Department of Law, Koror University, 高麗大学校法科大学（韓国・Seoul）一九八七年四月

「中国刑法と表現の自由」 東国大学校法科大学特別講演・College of Law, Dongguk University, 東国大学校法科大

学 (韓国・Seoul) 一九八七年四月

「アジアにおける人権―中国大陸における表現の自由問題をめぐって―」 台湾師範大学法政学院講演 (台湾・台北・

Taipei) 一九八七年八月

「会社設立をめぐる犯罪―最近の『見せ金』による仮装払込について―」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学

校) 一九八七年九月

「公務員の法意識―法の効力と道徳的義務―」 苫小牧市役所職員研修講座 (苫小牧市) 一九八七年六月

「市民生活と法律―現代法における権利と義務―」 NHK札幌放送局職員教養講座

一九八八年

「市民の権利と住民の義務」 北海道漁業協同組合学校法学特講 (北海道漁業協同組合学校) 一九八八年五月

「法律による行政と公務員の職業倫理」 苫小牧市役所職員研修講座 (苫小牧市) 一九八八年六月

「リクルート疑惑とインサイダー取引―川崎市助役解雇事件、殖産住宅等贈収賄事件にふれて―」 北海道警察学校幹

部教養部 (北海道警察学校) 一九八八年十一月

「いま、東アジアの民主主義と法制を考える―フィリピン・台湾・大韓民国・中華人民共和国―」 北海道警察学校一

般教養部特講 (北海道警察学校) 一九八八年一二月

「現代アジアの民主主義と法―東アジアの国民と生活―」 札幌学院大学土曜公開講座 (江別市大麻公民館) 一九八八

年五月

「国家公務員にとって『公益』とは何か―公労法第十七条の解釈と適用―」 札幌営林局職員研修講座 (北海道営林局)

一九八八年七月

一九八九年

「現代日本の民主主義と表現の自由」 北大招請外国人特別講演・Law School of Peking University, 北京大学法学院 (中国・北京・Beijing) 一九八九年十一月

「アジアにおける憲法の変遷―日本、韓国、フィリピンを中心にして―」 中国人民大学法学院秋季特別講演・Faculty of Law, Renmin University of China, 中国人民大学法学院 (中国・北京・Beijing) 一九八九年十一月

「アジアにおける人権思想の変遷―日本、韓国、フィリピンを中心にして―」 山東大学法学研究中心特別講演・山東大学法学院・Faculty of Law, Shandong University (中国・齊南・Qinan) 一九八九年十一月

「現代における刑事警察の責任と市民の協力」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 一九八九年一〇月

「市民の権利濫用と国家権力の濫用」 北海道漁業協同組合学校法学講座 (北海道漁業協同組合学校) 一九八九年七月

一九九〇年

「事業連合化と地域大学生協の展望」 北海道教育大学釧路生協創立十周年記念 (北海道教育大学釧路生協) 一九九〇年七月

「公害企業の法的責任・判例にみる挙証責任の転換」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 一九九〇年一〇月

「沿岸漁業と漁民の生活権：ゴルフ場等の農薬散布による海水汚濁と漁民への救済：」 北海道漁業協同組合学校法学

講座 (北海道漁業協同組合学校) 一九九〇年五月

「法律による行政と公務員の職業倫理：現代中国の官僚主義（人治、以言代法）から考える…」 苫小牧市役所職員研修講座（苫小牧市役所）一九九〇年六月

「警備業法第八条と人権擁護」 北海道警察警備員指導責任者講習会（北海道警察本部）一九九〇年六月

一九九一年

「法における平等の実現…ナチスの法律の悪法的性格…」 吉林大学法学院客座教授講演・Faculty of Law, Jilin University, 吉林大学法学院（中国・長春・Changchun）一九九一年十一月

「法における平等の実現…戦前朝鮮における治安維持法の適用について…」 延辺大学法学院特別講演・Legal Department of Yanbian University, 延辺大学法学院（中国・延吉・Yanji）一九九一年十一月

「法における平等の実現…日本における天賦自然の人権と抵抗権思想について…」 中国人民大学法学院特別講演・Faculty of Law, Renmin University of China, 中国人民大学法学院（中国・北京・Beijing）一九九一年十一月

一九九二年

「北方四島をめぐる漁業の法律問題」 北海道漁業協同組合学校特別講演（北海道漁業協同組合学校）一九九二年六月

「日本における死刑廃止論の諸相—団藤重光博士の死刑廃止論を中心に—」 延辺大学法学院特別講演・Legal

Department of Yanbian University, 延辺大学法学院（中国・延吉・Yanji）一九九二年九月

「植民地統治法による司法過誤—韓相範博士の韓国法文化論（一九九一年）にふれて—」 延辺大学法学院特別講演・

Legal Department of Yanbian University, 延辺大学法学院（中国・延吉・Yanji）一九九二年九月

「三・一独立運動の精神と抵抗権」 延辺大学法学院特別講演・Legal Department of Yanbian University, 延辺大学法学院（中国・延吉・Yanji）一九九二年九月

「国民の憲法守護義務と抵抗権の制度化」 中国人民大学法学院憲法教研特別講演・Faculty of Law, Renmin University of China, 中国人民大学法学院（中国・北京・Beijing）一九九二年九月

「共同不法行為と過失の立証責任」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九九二年九月

一九九三年

「ホワイトカラーの犯罪…とくに特別背任罪における《図利・加害目的》について…」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）

北海道警察学校）一九九三年九月

「約束手形の偽造…刑法第一六二条、第一六三条の成否について…」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）

一九九三年一〇月

一九九四年

「経済犯罪に対する死刑の適用…中国の《経済を重大に破壊する犯罪者を厳しく処罰することに関する決定》（一九八二年）をめぐって…」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）一九九四年七月

一九九五年

「中国における価値相対主義の展開…杜鋼建及び張文頤教授の所説」 吉林大学法学院特別講演、吉林大学法学院・Fac-

ulty of Law, Jilin University (中国・長春・Chanchun) 一九九五年八月

「法の遵守と違法・違反」 地域安全活動推進委員会研修会・札幌白石・厚別防犯協会連合会 (白石区民会館) 一九九五年一〇月

「中国の民主化と死刑制度・死緩判決」 苫小牧市民講座、苫小牧公民館、一九九五年九月

「手形流通をめぐる犯罪：被偽造者の帰責原因」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 一九九五年一〇月

一九九六年

「死緩刑と労働改造制度の課題：超個人主義から個人主義へ」 山東大学法学院特別講演・Faculty of Law, Shandong University, 山東大学法学院 (中国・齋南・Qinan) 一九九六年九月

「人権の尊重と抵抗権…東西抵抗権論の諸相」 中国青年政治学院法律系特別講演・Law Department, China Youth College for Political Science, 中国青年政治学院 (中国・北京・Beijing) 一九九六年九月

「金融会社役員による背信行為の特色…とくに住専問題にみる『背信行為』の性格」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 一九九六年一月

一九九七年

「国際社会における東アジアの優しさとは…人権問題の今日的課題」 広島女子大学 (広島女子大学生涯学習教育センター) 一九九七年九月

「法における個人主義と超個人主義…中国の人権概念の展開」 西北政法学院特別講演・Northwest University of

Political Science and Law, 中国西北政法学院 (中国・西安・Xian) 一九九七年九月

「日本特別背任罪的特性与量刑：日・中・韓比較分析」 吉林大学法学院特別講演・Faculty of Law, Jilin University,

吉林大学法学院 (中国・長春・Changchun) 一九九七年九月

「東アジアの民主主義と人権：ラートブルッフ法思想の影響」 東国大学校法政大学特別講演・東国大学慶州キャンパ

ス (韓国・慶州・Kyongju) 一九九七年一〇月

「中国の文化、今と昔：漢詩の世界と人権」 札幌学院大学《企業と大学との就職懇談会》、東京私学会館、一九九七年
十一月

「手形の偽造と民法第一七五条使用者の責任」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 一九九七年六月

一九九八年

「日韓比較・法人の刑事責任」 東国大学校法科大学特別講演・College of Law, Dongguk University, 東国大学秋季

国際シンポジウム (韓国・Seoul) 一九九八年八月

「中国における株式会社法の導入と単位犯罪規制」 吉林大学法学院特別講演・Faculty of Law, Jilin University, 吉

林大学法学院 (中国・長春・Changchun) 一九九八年八月

「中国刑法改正の意義：市場経済の導入と経済犯罪」 朝鮮民族自治区創起四〇周年記念講演・Legal Department of

Yanbian University, 延辺大学法学院 (中国・延吉・Yanji) 一九九八年九月

「アジアの人権：多元文化主義と価値相対主義のはざままで」 京都学園大学法学部、単位互換協定締結記念特別講演、

京都学園大学、一九九八年一〇月

「手形犯罪：特殊金融犯罪の類型」 北海道警察学校幹部教養部、(北海道警察学校) 一九九八年七月

二〇〇〇年

「現代化的中国刑法修改与人権」 北京師範大学法律学系特別講演・Law School of Beijing Nomal University, 北京師範大学 (中国・北京・Beijing) 二〇〇〇年一〇月

「欧盟的法人刑事責任与中国刑法修改」 中央財經大学法律学系特別講演・Law Department of Central University of Finance and Economics, 中央財經大学 (中国・北京・Beijing) 二〇〇〇年一〇月

「EU秩序と経済犯罪」 札幌学院大学 《企業と大学との就職懇談会》、札幌ガーデンパレス、二〇〇〇年一〇月

「EUと企業規制・法人を処罰できるか」 札幌学院大学 《企業と大学との就職懇談会》、東京私学会館、二〇〇〇年一月

「犯罪捜査の留意点・とくに不動産の二重売買と横領罪に関して」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 二〇〇〇年十一月

二〇〇一年

「中国の人権、天安門事件その後」 札幌国際連帯研究会 (札幌市中央区区民センター) 二〇〇一年七月

「中国的法治国建設与刑事司法体制改革…中国刑法修改与人権問題」 南開大学政法学院法律系特別講演・The School of Politics and Law of Nankai University, 南開大学政法学院建国記念館 (中国・天津・Tianjing) 二〇〇一年一〇月

「日本の大学院における法学教育の展望」 中国人民大学法学院研究生院特講・Faculty of Law, Renmin University of China, 中国人民大学法学院 (中国・北京・Beijing) 二〇〇一年一月

「転変时期的法治…仁学憲政与人権」 中国財經大學法律系・政治学系特講・Law Department of the Chinese University of Finance and Economics, 中国財經大學講堂 (中国・北京・Beijing) 二〇〇一年一月

「株主代表訴訟と会社役員職員の責任」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 二〇〇一年九月

「いま中国・韓国の人権と法制を考える」 札幌学院大学大学院法学研究科公開講座 (札幌学院大学アクティブセンター) 二〇〇一年五月

二〇〇二年

「韓国・中国にとって人権とは何か、異文化の相対性と人権問題」 石狩市国際交流ゼミナール、石狩市国際交流協会、

石狩国際会館、二〇〇二年六月

「破産会社における財産の隠匿行為」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 二〇〇二年九月

「中国の刑事司法と人権…死刑囚からの臓器移植」 札幌学院大学大学院法学研究科公開講座、(札幌学院大学アクティブセンター) 二〇〇二年六月

二〇〇三年

「現代中国の人権問題再考・労働教養制度」、東亜大学校法科大学特別講義・College of Law, Dong-A University, 東

亜大学校法科大学 (韓国・釜山・Busan) 二〇〇三年九月

「評作為実定法的《労働教養制度》的不法…論拉德布魯赫価値相對主義現代意義」、深圳大学法学院創設二〇周年記念
講演・Shenzhen University, Law School, 深圳大学法学院 (中国・深圳・Shenzhen) 二〇〇三年一〇月

「脱税犯における《偽りその他不正行為》をどう見るか」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 二〇〇三年
十一月

「植民地統治法の性格…戦前朝鮮・台湾における治安維持法の変遷」 札幌学院大学コミュニティカレッジ公開講座(札幌学院大学社会連携センター) 二〇〇三年一〇月

二〇〇四年

「中国憲法四原則与労働教養制度」 国立中正大学法律学系特講・Department of Law, National Chung Chen University, 国立中正大学講堂 (台湾・嘉義・Chia Yi) 二〇〇四年二月

「中国における人権と相對主義の展開」 大眞大学校法科大学大学院特講・Graduate School of Law, Daejin University (眞大国際学術会館) (韓国・Pocheon) 二〇〇四年一〇月

「手形・小切手をめぐる犯罪捜査の要点」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校) 二〇〇四年一〇月
「死刑廃止と終身刑導入の是非」 札幌学院大学法学部土曜講座 (江別市大麻公民館) 二〇〇四年七月

二〇〇五年

「租税刑事法の一側面…法人税法第一五九条違反と通脱罪の構成要件」 北海道警察学校幹部教養部 (北海道警察学校)
二〇〇五年九月

二〇〇六年

「アジア諸国における死刑制度、中国・韓国・台湾における死刑廃止論」 札幌国際連帯研究会（S I I S）、道民活動センター・かでる2・7、二〇〇六年七月

「総会屋の活動をいかに禁圧するか―株主の権利行使に関する利益供与罪」 S G U会計人会（札幌東急イン）二〇〇六年八月

「韓国における死刑廃止特別法案の歴史的意義―中国・台湾との比較」 東亜大学国際交流センター協定校記念講演・Dond-A University, 東国大学校（韓国・釜山・Busan）二〇〇六年一〇月

「拓銀役職員に対する特別背任罪と保身・札幌高裁判決の意義」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）二〇〇六年十一月

「会社経営に関する犯罪―特別背任罪の成否」 札幌学院大学コミュニティカレッジ（札幌学院大学連携センター）二〇〇六年十一月

二〇〇七年

「物権の変動と登記をめぐる諸問題」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）二〇〇七年二月

「判例にみる代理権の濫用と手形の偽造」 北海道警察学校幹部教養部（北海道警察学校）二〇〇七年三月